

本時のねらい

伝統の文様や、身近にある文様の良さや美しさを感じ取る。
Keynote に図形を描き、それをコピーして貼り付け、連続した文様をつくる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

文様のもとになる形を、Keynote にコピーして貼り付けることで、同じ図形を何度も描く時間を短縮することができ、出来上がった文様について共有する時間を充実させる。

Keynote で文様の形や配置を試行錯誤し、自分の表したいイメージをより深く考えさせる。
ミライシードのオクリンクでクラス全員の作品を共有し、鑑賞活動を活発にさせる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 動画 (NHK「日本の美」)
- ・ ミライシード (オクリンク)
- ・ 教科書コンテンツ「ART BY STUDENT」
- ・ Keynote
- ・ 写真アプリ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<p>○NHK「日本の美」及び「ART BY STUDENT」を鑑賞し、印象に残った文様をミライシードのカードに描いて事前に提出する (反転学習)</p> <p>○事前課題を班で鑑賞し、なぜその文様が印象に残ったのか、理由を伝え合い、自分が作りたい作品のイメージを広げる。</p> <p>○本時の課題「連続した文様をつくらう」と、制作方法を確認する。 【写真1】</p>	<p>○簡単な図形が文様へと変化する映像を鑑賞し、文様制作の手掛かりにさせるとともに、作品展示コンテンツを活用し、見識を広める。</p> <p>○事前課題であるミライシードのカードを全体共有することで、他の生徒の文様の種類も確認でき、展開場面のよりクリエイティブな活動が期待できる。</p>
展開 (25分)	<p>Keynote で文様のもとになる単体をつくる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正方形を描く 2. 正方形の中に図形を並べていく。 3. 正方形からはみ出る形はスクリーンショットを撮り、写真加工でトリミングする。 4. 単体の図形をコピーして並べ方を工夫して文様を作成する。 【写真2】 	<p>○アイデアが出にくい生徒には、ミライシードで共有した事前課題の文様を参考にさせる。</p> <p>○Keynote の図形ツールの種類が豊富であるため、図形を選択するだけで、色んな文様を作成することができる。また、回転や変形も感覚的に操作しやすく、試行錯誤や工夫がしやすい。</p>
まとめ (15分)	<p>○出来上がった作品をミライシードに提出し、班でコメントしあったものを、全体で共有する。(発表) 【写真3】</p>	<p>○iPad 上で全員の作品やコメントを見ることができる。</p> <p>○電子黒板に写し、数名を指名し、声に出して発表させる。</p>

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】ミライシードで事前課題の文様を鑑賞する。



【写真2】Keynote で文様のもとになる単体をつくる。



【写真3】出来た作品をミライシードに提出し、班でコメントしあったものを、全体で共有する。

児童生徒の反応や変容

Keynote の操作に慣れてくると、より複雑で、仕掛けの多いデザインに挑戦しようとする姿が見られた。
全体鑑賞では、作品の説明を聞き、作品の工夫に気づけた生徒から、「おー！」「そういうことか！」など、驚きや発見の声があがった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

Keynote でつくった文様のもとになる単体の図形は、アプリ内で保存させるのではなく、スクリーンショットに撮って加工させていくと扱いが簡単で、連続した文様を作成させやすい。

出来上がった文様をプリントアウトして、身の周りのどの場面で使えるか考えさせることで、生徒がつくった文様を生活で生かす活動にもつながられる。